

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成17年9月15日(2005.9.15)

【公開番号】特開2003-254568(P2003-254568A)
 【公開日】平成15年9月10日(2003.9.10)
 【出願番号】特願2002-53268(P2002-53268)
 【国際特許分類第7版】

F 2 4 F 7/00

F 2 4 F 7/06

【F I】

F 2 4 F 7/00 A

F 2 4 F 7/06 A

F 2 4 F 7/06 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月28日(2005.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上方に向けて開口した吸込口を有し、該吸込口を通じて吸引した浄化空間の空気を浄化するようにした空気清浄機において、

前記吸込口の側方域から上方及び左右に向けて障壁を突設するとともに、この障壁の上部から浄化後の空気を前記吸込口の上方域に向けて吹き出すことを特徴とする空気清浄機。

【請求項2】

浄化後の空気を前記障壁の上部から略水平方向に沿って吹き出すとともに、該障壁の上部から吹き出す空気の流速を、前記吸込口から吸引される空気の流速よりも小さく設定したことを特徴とする請求項1に記載の空気清浄機。

【請求項3】

前記障壁として、隔壁と該隔壁の側縁から該隔壁に沿って突出するパネルを設けたことを特徴とする請求項1または2に記載の空気清浄機。

【請求項4】

前記隔壁に対して前記パネルを着脱可能に配設したことを特徴とする請求項3に記載の空気清浄機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、請求項1の発明に係る空気清浄機は、上方に向けて開口した吸込口を有し、該吸込口を通じて吸引した浄化空間の空気を浄化するようにした空気清浄機において、前記吸込口の側方域から上方及び左右に向けて障壁を突設するとともに、この障壁の上部から浄化後の空気を前記吸込口の上方域に向けて吹き出すことを特徴とする

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

この発明によれば、障壁の上部から吹き出す浄化後の空気によって浄化空間と外部空間とを仕切ることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、請求項2の発明に係る空気清浄機は、請求項1に記載の空気清浄機において、浄化後の空気を前記障壁の上部から略水平方向に沿って吹き出すとともに、該障壁の上部から吹き出す空気の流速を、前記吸込口から吸引される空気の流速よりも小さく設定したことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

この発明によれば、障壁の上部から吹き出された浄化後の空気が再び吸込口から吸引されることになる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、請求項3の発明に係る空気清浄機は、請求項1または2に記載の空気清浄機において、前記障壁として、隔壁と該隔壁の側縁から該隔壁に沿って突出するパネルを設けたことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 4 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項 1 の発明によれば、障壁の上部から吹き出す浄化後の空気によって浄化空間の上方部が仕切られることになるため、仮に浄化空間に気流等の外乱が発生した場合であっても、当該浄化空間の空気が外部空間へ流出する事態を防止することが可能となる。しかも、浄化後の空気を吹き出すための吹出口を設けるだけであるから、重心位置が高くなることもなく、大型化や重量化に伴う製造コストの増大を抑えることができる。さらに、外部空間に対して空気を吹き出すものではないため、空気清浄機を通じてタバコの煙や塵埃等の異物が外部空間に漏出するという問題や外部空間にいる人に対してドラフト感や騒音といった不快感を与える問題を招来する虞れもない。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 1

【補正方法】 削除

【補正の内容】